

アジア企業という視点で「ものづくり」にこだわる！ (フジ矢 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:大阪府東大阪市松原2-6-32
- 代表者:野崎 恭伸
- 資本金:8,500万円
- 売上高:10億円
- 従業員数:81名(国内グループ総数)
74名(ベトナム)
- URL:<http://www.fujiya-kk.com/>

①事業概要

<ペンチ・ニッパ類の製造・販売>

フジ矢株式会社は、ペンチ・ニッパを中心に製品の開発・製造から製品まで一貫して行っている作業工具メーカー。平成12年にはペンチ業界初のISO規格の認証を取得し、製品の90%は自社ブランドで販売。その種類は300以上にもものぼっている。プロユーザー(電工・工場)を主な顧客ターゲットに、ペンチ・ニッパ類国内トップシェアの35%になる。

【受賞】

- ・中小企業総合事業団理事長賞(平成15年度)
- ・「関西IT企業百選」優秀企業(平成17年度)
- ・「IT経営百選」最優秀企業(平成18年度)
- ・「関西情報化功労者表彰」近畿経済産業局長表彰(平成18年度)
- ・「元気なモノ作り中小企業300社」(平成19年度)
- ・中小企業IT経営力大賞「IT経営実践企業」(平成19年度)
- ・「第10回東大阪モノづくり大賞」の銀賞(平成19年度)
- ・「大阪府商工関係者表彰」(平成23年度)

②海外展開概要

<東南アジアにおける工場の設置>

ペンチ類の市場は、全国でも約50億円程度の市場規模にもかかわらず、国内には競合他社が多く、過当競争になっている状況だった。今後も国内市場が縮小していくことが予想されるなかで、国内市場だけでは売上を飛躍的に伸ばすことができないと判断し、海外市場開拓に取り組みはじめたのがきっかけ。また、当社の工具にはどれも熟練の技術が不可欠になるが、日本国内では技術伝承の課題に直面しており、海外にも広く目を向けていかねばならないという課題にも直面していた。そんな中、当社は約10年前より地域の中小企業組合の紹介でベトナム人研

修生を受け入れていたため、彼らの手先の器用さを理解していた上、研修終了後に彼らが帰国した後も仕事を続けてもらいたいという意識もあった。

これらを踏まえて、平成19年にベトナム工場設立に至った。中国を始めその他アジア各国も検討したが、知的財産権の問題や宗教の問題等懸念事項がたくさんあった。その点、ベトナムだと研修生のネットワークも活用でき、なにより親日国家なので事業がしやすい環境にある。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

最大のメリットはやはりコスト面。ベトナムでは法人税の優遇が受けられ大変助かった。コスト面ばかりでなく、海外に出ると付き合う企業が広がる。例えば台湾の取引先からカナダ企業を紹介してもらったなど、ビジネスチャンスが広がった。国内だけでなく、世界目線で事業を考えるので視野が大きく広がった。

④今後の事業展開について

ベトナムの事業をコアにしながら、タイやインドネシア等ASEAN諸国への販路を開拓していきたい。今後はアジアの展示会にも出展していきたいと思っている。アジア諸国では日本製が大きな武器となるので、フジ矢ブランドをどう大きくしていけるかが重要である。そのために海外に対応可能な人材も採用していきたい。アジアの他にもアメリカやヨーロッパからも引き合いがある。欧米市場では、安価な中国製や台湾製工具が多い中、ベトナム工場で生産している工具を直接海外市場へ輸出し販売していきたいと思っている。



▲野崎 恭伸 代表取締役



▲フジ矢ベトナム工場

(平成24年10月現在)

データ出所:近畿経済産業局